

小学生プログラミング県大会

玉造小チーム2連覇

水戸

小学生がプログラミング技術を競う「ユードムチャレンジカップ2025年度全国選抜小学生プログラミング大会県大会」（茨城新聞社、全国新聞社事業協議会主催、ユードム、茨城大特別協賛）の最終審査が20日、水戸市泉町の市民会館で開かれた。社会問題をカードゲーム化した行方市立玉造小6年の井川裕麻さん（12）、岡田拓登さん（12）のチーム「T&Y」が2年連続で最高賞の県知事賞に輝いた。来年3月に都内で開かれる全国大会に出場する。

社会問題をカードゲーム化

本年度は「みんなの暮らし」のテーマで作品を募り、1次審査で特別賞7点、優秀賞12点が選ばれた。

この日は特別賞の児童らが3分以内でプレゼンテーションを実施。茨城大教育学部の毛利靖教授らが発想を審査した。



2年連続で県知事賞に輝いたチーム「T&Y」の井川裕麻さん（右）と岡田拓登さん（中央）。水戸市泉町

井川さんと岡田さんは「エコバランス―未来の地球を守れ―」と題し、複雑に絡み合う社会問題を楽しく学べるカード式ゲームを開発。経済問題や環境問題を対戦形式で考える仕組みで、ゲーム内の通貨で新しいカードを手でできる工夫のほか、イラストで簡潔に表現するなどビジュアル性にもこだわった。

2年連続の受賞に、岡田さんは「めっちゃうれしい。多くの人に社会問題に興味を持ってもらえたらうれしい」、井川さんは「バグの修正が大変だった。全国でも一番いい賞を取りたい」

と喜んだ。

特別賞は他に、いびき計測器やクマ問題をテーマにした作品などが選ばれ、優秀賞は館内でパネル展示された。（朝倉洋）

県知事賞以外の特別賞各賞は次の通り。（敬称略）

▽県教育長賞 「いびき計測器」より良い眼りをあなたに」

野口愛央、岡野あこ（Amada ko）▽茨城大学長賞 「熊と亀と人間の問題」高田善也、市心月（いきものレンジャーズ）▽ユードム社長賞 「かつおのAイレストラン経営物語」益子勢（日立市立油壺小6年）▽茨城新聞社長賞 「パイロットシミュレーター」菊池陽（天子町立依小4年）▽けんてんふれあい茨城財団理事長賞 「地球に優しいお片付けシミュレーション」堀内舞々音、田口英依（スヘーストック愛好団体）

▽ひと・まちねっとわく賞 「未来のスーパーマーケット」穴山椋子、山田愛純、山田翼輝（A key Studio kid）

HPに動画